

NEC学生バードソン2010

～守ろう カンムリウミスズメ 海で繋がる 生物多様性～

報告書



学生バードソン2010実行委員会

実行委員長挨拶

学生バードソン2010実行委員会 実行委員長
東邦大学 4年
深澤 真梨奈

かつての私は自然保護とか、ボランティアだとかいったものは嫌いでした。もしくは興味が全くなく知ろうとしなかった、という方が正しいかもしれません。そんな私が学生バードソンに関わったきっかけは、大学のバードウォッチング部の先輩からの誘いでした。それも募金活動であることすら知らずに参加し、競技が終わっても募金先のことは知らないまま、興味すら持ちませんでした。しかしこれをきっかけに、本当に気まぐれに、主催団体の関わる活動に興味を持って参加し、あっという間にのめりこんでいきました。かつての私はきっと、実行委員長をやりたい、という程の強い思いを持つなど想像すらできなかつたと思います。そんな自分を思い出す度、学生バードソンが私の人生を大きく変えたのだなとつくづく思います。このようにバードソンという競技が、生き物を大切に作る気持ちや考え、行動などに、わずかでも変化を与えられるような機会となればうれしく思います。

先日、母の通う手芸教室仲間の方が鳥をよくみられると知り話を聞いてみると、かつての学生バードソン参加者でした。学生バードソンのような活動とは無縁の母からそのような話を聞き、予想外の繋がりにそれはもう興奮してしまいました。それは今後皆さまにもあり得る話だと思いとさらに胸がはずみました。就職後、取引先で、何かの折に学生バードソンの話で盛り上がって意気投合、新しい企画を一緒に立てたり…などと想像するだけで将来が楽しみになります。または、当時の繋がりを頼りに自分から探す事も可能です。つまり、1回競技に参加しただけでも、最低120人、あるいはその何倍ものネットワークができたことになります。10年後、20年後、もっと先に、そんな再会とともに、自然を大切に思う仲間でなにかのアクションを起こすきっかけとなり、より自然にとって良い方向へ向かう助けになれば、と思います。

バードソンはとてもすばらしい競技だと、実行委員長を務めながらさらに実感していきました。そんな競技を無事に成功させ、それによるたくさんの可能性をつなぐことができたのは、まぎれもなく皆さまのおかげです。この100万円というお金はただのお金ではなく、関係した皆さまが一生懸命多くの方に競技や募金先のことを説明して、およそ2000人もの方から募金を集めていただいたご尽力の賜物です。競技を盛り上げてくださった参加者や募金者の皆さま、協賛していただいたNEC様、多くのご支援をいただいた(財)日本野鳥の会様、その他ご協力いただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。

協賛企業からのご挨拶

「NEC学生バードソン2010」によせて

NEC・CSR推進部
社会貢献室ファイナンソピー・エキスパート
山辺清和

「NEC学生バードソン2010」が今年も目標を上回る多くの参加者、募金額を得て、絶滅危惧種であるカンムリウミスズメの保護活動のために貢献でき、協賛企業として大変喜ばしく思います。

F.Aネットワークのスタッフの皆さん、及び参加された皆さんは、チームの結成から募金者の募集、朝早くからフィールドに出での活動と、いろいろご苦勞があったと思います。この場をお借りして感謝申し上げます。

今年には国連の定めた「国際生物多様性年」であり、また、10月には生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が名古屋で開催されるなど、生物多様性について一番注目される年でもあります。

当社ではこのイベントを環境保全活動の一環として94年から継続支援させていただいていますが、当社の生物多様性行動指針に沿った活動として評価されています。また今回も当社から社会人チームにエントリーすることができました。報告会でも交流を深めることができ、社員の意識啓発にもつながったと思います。

今後も、「NEC学生バードソン」の規模が益々大きくなり、全国の都道府県で開催され、生物多様性のためになくてはならない活動になることを期待しています。

募金先からのご挨拶

ご支援ありがとうございました

日本野鳥の会は、これまで絶滅のおそれのあるタンチョウ及びシマフクロウの保護に力を入れて取り組んできました。近年は世界的に海洋における生物多様性の危機が深刻な状況であることや、私たちの国が海洋国でもあることから、昨年度より新たに絶滅のおそれのある海鳥・カンムリウミスズメの保護にも力を入れています。

カンムリウミスズメは世界でも日本近海にのみ生息し、その数は5千羽程度といわれています。私たちの国には、カンムリウミスズメを絶滅から救う責任と義務があります。しかしながらカンムリウミスズメを守るための対策は十分とられておらず、その生息実態すらよくわかっていない状況です。当会が実施した伊豆諸島域におけるこの2年間の調査では、過去最大となる438羽を洋上で確認したほか、近年情報がなかった5か所の繁殖地において繁殖を確認するなど、新たな知見が得られました。

また、これらの知見が活かされ、去年は繁殖地である神津島の属島祇苗(ただなえ)島と三宅島の属島大野原島が新たに国指定鳥獣保護区に指定されました。

これまでのカンムリウミスズメの調査結果が、具体的な保護対策へと繋がり、本種の保護がさらに進んだことは大変うれしいことです。

さて、今回で22回目となった「NEC学生バードソン2010」は、当会のカンムリウミスズメを守る取り組みに賛同され、そこで得られた募金が昨年引き続き当会へ寄付していただけることになりました。カンムリウミスズメの保護が大きく前進したのは、ひとえに皆さまのご支援の賜物と存じます。

この度、ご支援いただいた学生バードソン実行委員会の皆さま、ご協賛された日本電気株式会社様、競技に参加された皆さま、全国から募金をいただいた皆さまには心から感謝し、深く御礼申し上げます。

当会は引き続き、野鳥や自然を守る活動を推進して参りますので、いっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年3月吉日
(財)日本野鳥の会
会長 柳生博

目次

実行委員長挨拶
協賛企業のご挨拶
募金先のご挨拶
目次

1.競技結果報告	
<学生部門>	
総合順位表	1
種目別順位表	2
<社会人部門>	
総合順位表	3
種目別順位表	4
特別賞受賞作品	5
作品一覧(フォト賞・バードソン川柳)	10
2.NEC学生バードソン2010成果報告	15
3.参加チーム紹介	16
4.関連イベント報告	37
春のバードウォッチングフェスティバル	
東京バードフェスティバル2010	
秋のバードウォッチングフェスタ	
ジャパンバードフェスティバル2010	
エコプロダクツ2010	
三宅島調査同行	
交流会	
5.実行委員会紹介	39
6.学生バードソンのあゆみ	40
(財)日本野鳥の会バードソン期&独自のバードソン展開	
学生バードソン21年間の成果	
7.謝辞	42

1. 競技結果報告

< 学生部門総合順位 >

総合 順位	チーム名	所属	種数 順位	募金額 順位	募金者 数 順位
1	あなたとお弁当	麻布大学野鳥研究部	2	2	1
2	花鳥風月～北の里から～	北里大学	1	3	3
3	かえってきたかきしまん	東京大学生物学研究会	3	6	4
4	勝つおどり	岐阜大学応用生物科学部生産環境科学課程	4	7	6
5	鳥ダイエットNOKO	東京農工大学農学部野生動物研究会	13	5	2
6	鳥とりどり	岐阜大学応用生物科学部生産環境科学課程	7	8	10
7	岡本鳥見軍団	弘前大学農学部生物学科	8	15	5
8	シンクロハジロ	日本獣医生命科学大学	14	9	7
9	とっっても鳥見隊	F Aネットワーク	22	1	10
9	ぱっぱらーず	東邦大学	16	4	13
11	ロワゾー・ブリュー	東京農業大学野生動物学研究室	11	11	12
12	北大野鳥研究会	北大野鳥研究会	6	18	15
12	アリスイ in ワンダーランド	日本獣医生命科学大学獣医保険看護学科	18	12	9
14	TeamTIKABA	酪農学園大学環境システム学部生命環境学科	11	16	13
15	4年☆緑鳩チーム♪	酪農学園大学獣医学部獣医学科	21	14	8
16	アカショウビン探索隊	酪農学園大学野生動物生態研究会	14	17	17
16	さいとうちゃん	酪農学園大学獣医学部、WE S	10	20	18
16	阪の上のもりと	東京農業大学	19	13	16
19	ふじつーと鳥見	宇都宮大学農学研究科	5	23	23
20	プーちゃんのハニーハント	麻布大学野鳥研究部	8	23	23
21	kera² feat.みつよし	岩手大学農学部共生環境課程	25	9	22
22	愛ゆえに・・・・・・・・	麻布大学野鳥研究部	17	22	20
23	ぷよぷよ☆ポニーテール	麻布大学獣医学部獣医学科野鳥研究部	22	21	18
24	SHOOTA - DOODLEDO	日本大学生物資源科学部獣医学科	24	19	21
25	めんそーれ沖縄！農工の女子力☆	東京農工大学農学部地域生態システム学科 (野生動物研究会)	20	23	23
棄権	青空教室(※)	帝京科学大学生命環境学部アニマルサイエンス 学科	—	—	—
棄権	チーム・ワグテイル(※)	東京農業大学動物研究部	—	—	—

総合1～8位のチームが入賞となります！おめでとうございます！！

< 学生部門種目別順位表 >

野鳥発見種数

募金額

募金者数

順位	チーム名	種数	順位	チーム名	募金額 (円)	順位	チーム名	募金者数
1	花鳥風月～北の里から～	119	1	とっても鳥見隊	73,900	1	あなたとお弁当	537
2	あなたとお弁当	90	2	あなたとお弁当	59,056	2	鳥ダイエットNOKO	130
3	かえってきたかきしまん	86	3	花鳥風月～北の里から～	39,845	3	花鳥風月～北の里から～	113
4	勝つおどり	82	4	ぱっぱらーず	21,317	4	かえってきたかきしまん	86
5	ふじツルと鳥見	81	5	鳥ダイエットNOKO	16,301	5	岡本鳥見軍団	48
6	北大野鳥研究会	75	6	かえってきたかきしまん	11,936	6	勝つおどり	44
7	鳥とりどり	68	7	勝つおどり	9,833	7	シンクロハジロ	41
8	岡本鳥見軍団	62	8	鳥とりどり	9,715	8	4年☆緑鳩チーム♪	39
8	プーちゃんのハニーハント	62	9	シンクロハジロ	7,489	9	アリスイ in ワンダーランド	38
10	さいとうちゃん	56	9	kera² feat.みつよし	7,489	10	とっても鳥見隊	33
11	teamTIKABA	51	11	ロワゾー・ブリュー	7,000	10	鳥とりどり	33
11	ロワゾー・ブリュー	51	12	アリスイ in ワンダーランド	5,771	12	ロワゾー・ブリュー	27
13	鳥ダイエットNOKO	50	13	阪の上のもりと	5,690	13	teamTIKABA	19
14	シンクロハジロ	48	14	4年☆緑鳩チーム♪	4,369	13	ぱっぱらーず	19
14	アカショウビン探索隊	48	15	岡本鳥見軍団	2,960	15	北大野鳥研究会	13
16	ぱっぱらーず	46	16	teamTIKABA	2,106	16	阪の上のもりと	7
17	愛ゆえに……	45	17	アカショウビン探索隊	1,420	17	アカショウビン探索隊	6
18	アリスイ in ワンダーランド	44	18	北大野鳥研究会	792	18	さいとうちゃん	5
19	阪の上のもりと	41	19	SHOOTA - DOODLEDO	600	18	ぶよぶよ☆ポニーテール	5
20	めんそーれ沖縄！農工の女子力☆	40	20	さいとうちゃん	500	20	愛ゆえに……	4
21	4年☆緑鳩チーム♪	34	21	ぶよぶよ☆ポニーテール	150	21	SHOOTA - DOODLEDO	2
22	ぶよぶよ☆ポニーテール	33	22	愛ゆえに……	100	22	kera² feat.みつよし	1
22	とっても鳥見隊	33	23	めんそーれ沖縄！農工の女子力☆	0	23	めんそーれ沖縄！農工の女子力☆	0
24	SHOOTA - DOODLEDO	32	23	プーちゃんのハニーハント	0	23	プーちゃんのハニーハント	0
25	kera² feat.みつよし	0	23	ふじツルと鳥見	0	23	ふじツルと鳥見	0
棄権	チーム・ワグテイル(※)	28	棄権	チーム・ワグテイル(※)	7,000	棄権	チーム・ワグテイル(※)	21
棄権	青空教室(※)	40	棄権	青空教室(※)	3,249	棄権	青空教室(※)	18

(※) 青空教室とチーム・ワグテイルは競技当日チームの事情により棄権となりましたが、競技結果の報告をしていただいたため、記録のみ掲載します。

各種目の1位にはトップ賞が贈られました！おめでとうございます！！

＜社会人部門＞

総合順位

総合順位	チーム名	所属	種数順位	募金額順位	募金者数順位
1	翻訳ボランティア・アジアクラブ	日本野鳥の会アジアクラブ	2	1	1
2	釧路たんちょうクラブ	(財) 日本野鳥の会	3	4	3
3	再び、カンムリウミスズメ助け隊	(財) 日本野鳥の会	7	2	2
4	チーム♪鳥くん		4	5	5
5	鳥っこ		1	3	11
6	なんちゃってあややシーズンIV～アヤヤハイパー～	FAOG	7	6	3
7	くさやな関係 (チーム山田)	NEC	5	7	10
8	くさやな関係 (チーム植田)	FAOG	6	13	7
9	アカッパラ倶楽部	(財) 日本野鳥の会 三宅島事業所	10	9	8
9	アヤヤインワンダーバード～なんちゃってAYAWAY～	FAOG	7	11	9
11	元ぱっぱらーず	東邦大学理学部 OB・OG	12	12	6
12	ベイシティターン	NPO法人東京港グリーンボランティア	13	8	11
12	チーム鳥目	キナシベツ湿原を愛する会	11	10	11

総合1～3位のチームが入賞となります！おめでとうございます！！

＜社会人部門＞ 種目別順位表

野鳥発見種数

募金額

募金者数

順位	チーム名	種数	順位	チーム名	募金額 (円)	順位	チーム名	募金者数
1	鳥っこ	70	1	翻訳ボランティア・アジアクラブ	335,319	1	翻訳ボランティア・アジアクラブ	272
2	翻訳ボランティア・アジアクラブ	68	2	再び、カンムリウミスズメ助け隊	53,188	2	再び、カンムリウミスズメ助け隊	83
3	釧路たんちょうクラブ	66	3	鳥っこ	30,000	3	釧路たんちょうクラブ	15
4	チーム♪鳥くん	48	4	釧路たんちょうクラブ	22,040	3	なんちゃってあややシーズンIV～アヤヤハイパー～	15
5	くさやな関係(チーム山田)	42	5	チーム♪鳥くん	20,110	5	チーム♪鳥くん	11
6	くさやな関係(チーム植田)	41	6	なんちゃってあややシーズンIV～アヤヤハイパー～	12,800	6	元ばっばらーず	9
7	再び、カンムリウミスズメ助け隊	36	7	くさやな関係(チーム山田)	11,129	7	くさやな関係(チーム植田)	8
7	なんちゃってあややシーズンIV～アヤヤハイパー～	36	8	ベイシティターン	10,329	8	アカッパラ倶楽部	7
7	アヤヤインワンダーバード～なんちゃってAYAWAY～	36	9	アカッパラ倶楽部	9,014	9	アヤヤインワンダーバード～なんちゃってAYAWAY～	4
10	アカッパラ倶楽部	28	10	チーム鳥目	6,000	10	くさやな関係(チーム山田)	3
11	チーム鳥目	26	11	アヤヤインワンダーバード～なんちゃってAYAWAY～	5,710	11	ベイシティターン	1
12	元ばっばらーず	25	12	元ばっばらーず	4,500	11	チーム鳥目	1
13	ベイシティターン	21	13	くさやな関係(チーム植田)	3,550	11	鳥っこ	1

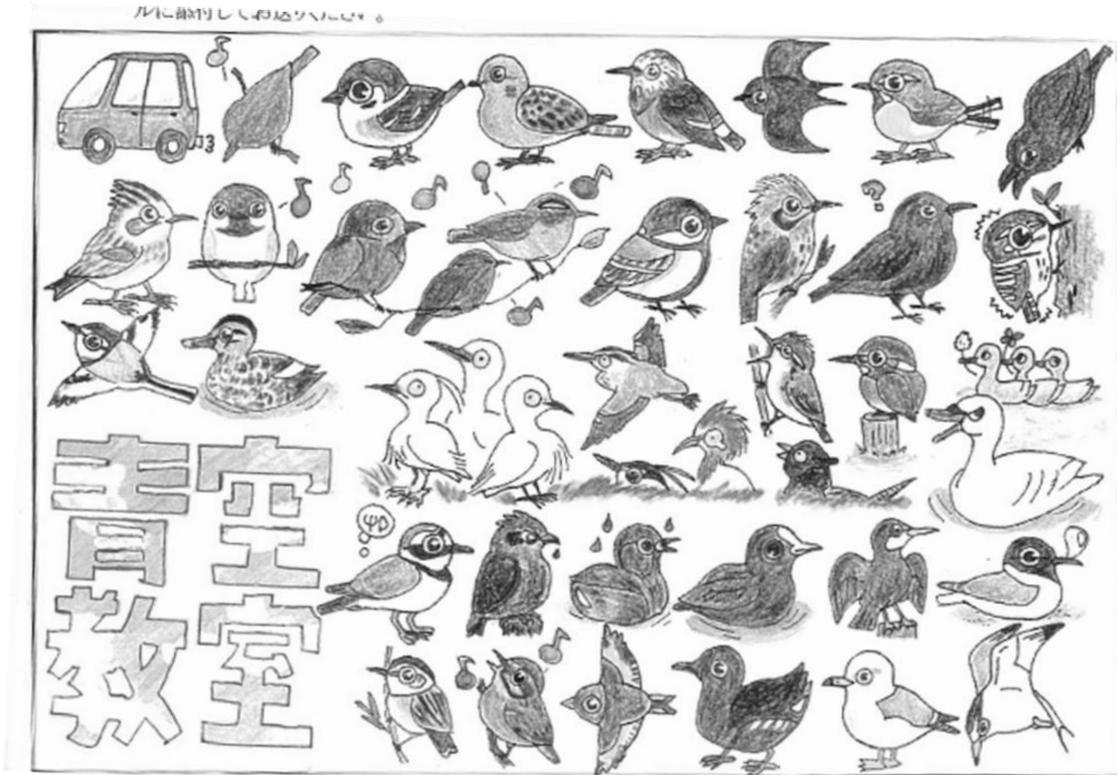
各種目の1位にはトップ賞が贈られました！おめでとうございます！！

特別賞受賞作品

報告大賞

各チームが競技当日の様子を作品にした「当日の足跡①」の優秀作品に贈られました

青空教室（帝京科学大学）



くさやな関係(チーム植田) (FAネットワークOG)



フォト賞

協賛企業のNECと募金先の(財)日本野鳥の会に応募作品中から1点を選んでいただきました。

NECが選ぶフォト賞

アカショウビン探索隊 (酪農学園大学野生動物生態研究会)



野鳥の会が選ぶフォト賞

ふじツルと鳥見 (宇都宮大学農学研究科)



カムリ賞

募金先のカムリウミスズメに関連して、
絶滅危惧種を一番多く発見したチームに贈られました。

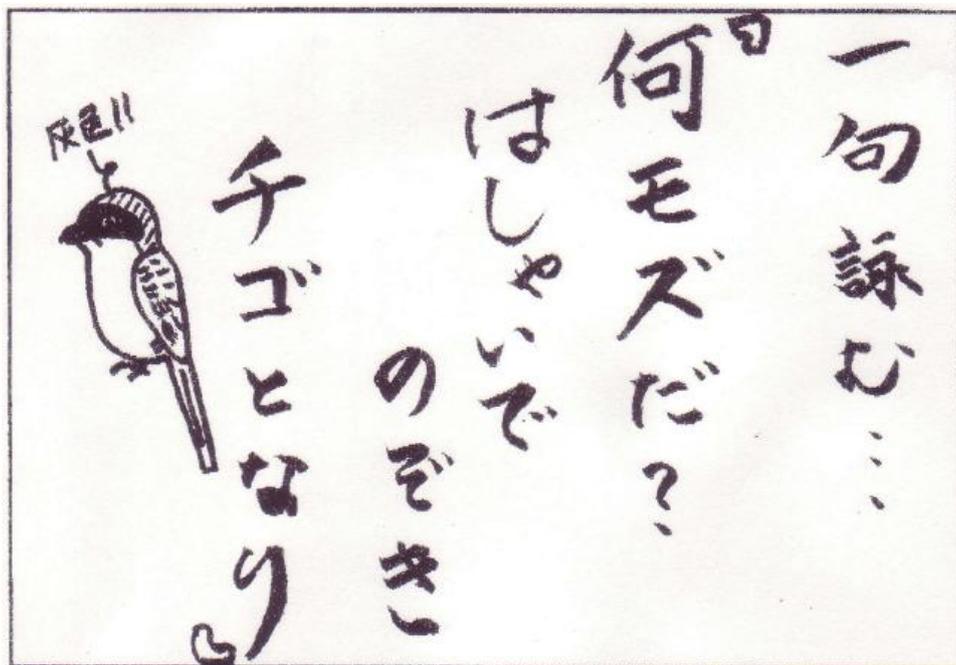
花鳥風月～北の里から～
(北里大学)

8種

川柳賞

競技中の思い出を川柳で表してもらいました

再び、カムリウミスズメ助け隊
(日本野鳥の会)



☆各賞賞品一覧☆

【学生部門】

☆総合賞☆

優勝 あなたとお弁当（麻布大学野鳥研究部）
サウンドリーダー、対応野鳥図鑑・カエル図鑑、三脚（※）

準優勝 花鳥風月～北の里から～（北里大学）
デジタルカメラ（※）

第3位 かえってきたかきしまん（東京大学生物学研究会）
ライト×3

第4位 勝つおどり（岐阜大学応用生物科学部）
アウトドアチェア（小）×3

第5位 鳥ダイエットNOKO（東京農工大学野生動物研究会）
アウトドアチェア（大）

第6位 鳥とりどり（岐阜大学応用生物科学部）
カムリウミスズメ水筒、タオル×2

第7位 岡本鳥見軍団（弘前大学農学部生物学科）
鳥文具セット

第8位 シンクロハジロ（日本獣医生命科学大学）
鳥文具セット

☆種目別賞☆

野鳥発見種数 花鳥風月～北の里から～（北里大学）
デジタルカメラ（※）

募金者数 あなたとお弁当（麻布大学）
サウンドリーダー、対応野鳥図鑑・カエル図鑑、三脚（※）

募金額 とっても鳥見隊（FAネットワーク）
野鳥フィールドノート、野鳥おもしろ図鑑、野鳥の名前図鑑

【社会人部門】

☆総合賞☆

優勝 翻訳ボランティア・アジアクラブ（日本野鳥の会アジアクラブ）
郵便切手、マフラータオル×3（※）

準優勝 釧路たんちょうくらぶ（鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ）
肩たたき×3、充電式カイロ

第三位 再び、カンムリウミスズメ助け隊（日本野鳥の会）
マッサージチェア（※）

☆種目別賞☆

野鳥発見種数 鳥っこ

アロマグッズ

募金者数 翻訳ボランティア・アジアクラブ（日本野鳥の会アジアクラブ）
郵便切手、マフラータオル×3（※）

募金額 翻訳ボランティア・アジアクラブ（日本野鳥の会アジアクラブ）
郵便切手、マフラータオル×3（※）

【特別賞】

☆報告大賞☆ 青空教室（帝京科学大学）

色鉛筆

くさやな関係（チーム植田）（FAOG）

色鉛筆

☆フォト賞☆

野鳥の会が選ぶフォト賞 ふじつるーと鳥見（宇都宮大学農学研究科）

ゴリラポッド（変形三脚）

NECが選ぶフォト賞 アカショウビン探索隊（酪農学園大学野生動物生態研究会）

ゴリラポッド（変形三脚）

☆カンムリ賞☆ 花鳥風月～北の里から～（北里大学）

デジタルカメラ（※）、フムフム（シマフクロウストラップ）×3

☆川柳賞☆ 再び、カンムリウミスズメ助け隊（日本野鳥の会）

野鳥のうた

※あなたとお弁当、花鳥風月、翻訳ボランティア・アジアクラブ、再び、カンムリウミスズメ助け隊は、各賞を合わせ総合賞欄に記載された賞品を贈呈しました。

作品一覧

(フォト賞、バードソン川柳)



「サクラソウの仲間？」
アカショウビン探索隊



「ヒバリ、駐車中？」 アカショウビン探索隊



「ヒガラ」かえってきたかきしまん
(よく見ると巣材を啜ってます。)



「ミヤマエンレイソウ」
アカショウビン探索隊



「花粉集めの真っ最中」(左)
アカショウビン探索隊



「お留守番五兄弟」 シンクロハジロ



「かくれんぼ」 シンクロハジロ



「キビのさえずり」 シンクロハジロ



「ごはんちょうだい」シンクロハジロ



「高尾の山中で遭遇」
シンクロハジロ



「親を待つイワ赤ちゃん」 シンクロハジロ



「そ〜っと、そ〜っと」
チーム♪鳥くん



「バードハンター越智」
シンクロハジロ



「謎の軍団と遭遇」
シンクロハジロ



「キビのプロポーズ」 シンクロハジロ



「きりり」 岡本鳥見軍団



「只今抱卵中！」 岡本鳥見軍団

「 昼下がり 鳥は見えねど 腹限界

三度の飯には やはり勝てぬ身 」

(鳥見<飯 藤津亜弥子 ふじツルーと鳥見)



「 キジバトを 見つけてさけぶ 午後4:30 」

(バードソンならでは MISATO OHARA ぽっぽらーず)

「 双眼鏡 のそいてハアハア たまらんな 」

(ボクの小鳥さんたち♡ 中山正晴 あなたとお弁当)

「 バードソン 風邪で行けずに ひ鳥見に 」

(ひとりみ 石野はるか 鳥とりどり)

「 いつ浮上? 潜水艦みたいな かいつぶり 」

「 違います~; 双眼鏡は 鳥探し 」

「 あと一種 新橋で観た ××ちどり 」

(おとななバードソン川柳 広瀬稔 くさやな関係チーム植田)

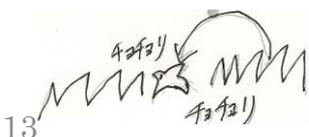
「 ひざまづけ 私の前で お鳴きなさい 」

(そういふプレイ 高草翔太 ぷよぷよ☆ポニーテール)



「 オオセッカ セッカくだから 見に行った 」

(セッカくだからね カワウソ アリスイinワンダーランド)



「 青い鳥 耳を澄ませて 待ちわびる 」

「 見つけたぞ 喜ぶ先に ビニール袋 」

「 鳥よりも さえずり響く 私たち 」

「 望遠鏡 担ぐ姿で 仲間を発見 」

「 サンコウチョウ 見つけた僕たち 絶好調 」

(川柳の多様性 くさやな関係チーム山田)

「 汗をかき 仲間と走る 鳥時間(タイム)」

「 耳澄まし 光(とり)・緑(やま)・青(かわ)の声探す 」

(石橋知可子 勝つおどり)

「 ああヨタカ 昨日の夜は 鳴いたじゃないか 」

「 ミゾゴイだ！ けれども今は 決戦前夜 」

(松尾ほだか 勝つおどり)



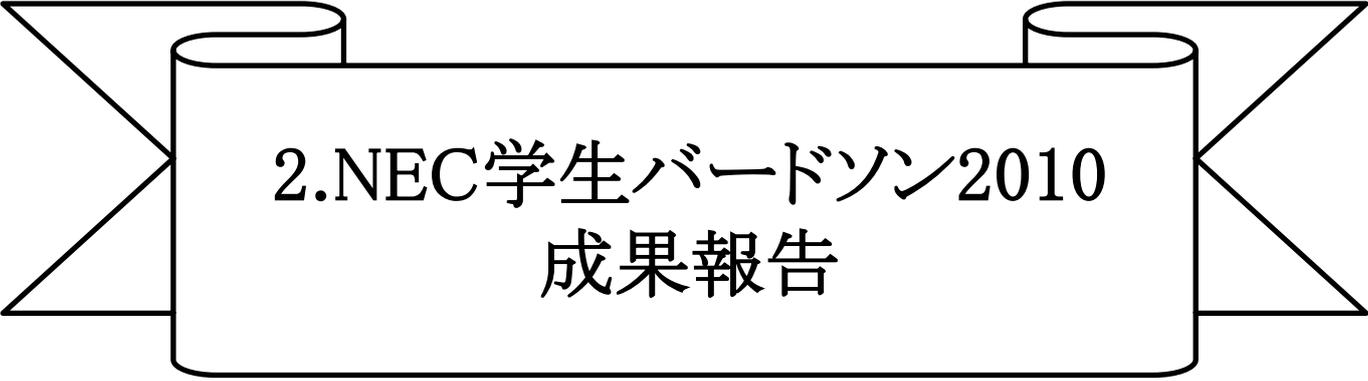
作品の題名 ヨシキリの ワンポイント ショウワウ

制作者の名前 小上 拓也

コメント

ショウワウ というステージの上で 元気がよく 泣き声 3ヨシキリを
川柳のこぼれみつけた。

(アカショウビン探索隊)



2.NEC学生バードソン2010 成果報告

募金総額
1,085,296円

募金者総数
1,719名

チーム参加者の皆様、募金者の皆様、その他ご協力いただいた多くの皆様、
誠にありがとうございました。

お預かりした募金は実行委員会を介して
(財)日本野鳥の会に全額を寄付し、
「カンムリウミスズメ保護プロジェクト」を通じ、
絶滅危惧種カンムリウミスズメの保護活動に役立てられました。

21年間の累積募金額
19,164,888円

21年間の累積募金者数
27,778名

3.参加チーム紹介

この章では、『NEC学生バードソン2010』に参加していただいた、
学生部門27チーム
社会人部門13チーム
合計40チームをすべて紹介いたします。

集合写真や当日の足跡から、当日の様子を想像して楽しみ下さい。
※競技結果は、競技終了時のものになります。
競技後の募金についてはスペースの関係上省略させていただきました。ご了承ください。

チーム紹介の見方

学：学生部門
社：社会人部門

チーム名			学	所属		
総		種		額		者

チームメンバー

ドライバー・支援者

参加申込書
保険申込書
に準拠

当日の足跡①

(競技当日の様子を
絵や写真・文章で
表現した作品)

チーム自己PR

チームの
成績と順位

総：総合順位
種：種数
額：募金額
者：募金者数

かえってきたかきしまん				学	東京大学 生物学研究会		
総	3位	種	3位 (86種)	額	6位 (11,936円)	者	4位 (86人)

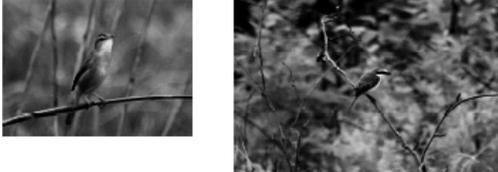
チームメンバー
 岩崎雄亮 5年
 森本智恵 5年
 後藤佑介 M1年

ドライバー・支援者
 柿嶋聡 D3年
 田川哲也 4年
 小松田麦子 4年

チーム名 かえってきたかきしまん 当口の足跡

前日より、道の駅朝霧公園で車中泊
 ↓
 5時ごろ 競技スタート 朝霧高原をまわり、高原の鳥
 ↓
 7時過ぎ 富士スバルラインの奥庭や、5合目周辺などに向かう 高山の鳥
 ↓
 昼過ぎ 山中湖を見て 湖の鳥
 ↓
 14時ごろ 霧西臨海公園まで大移動 海辺の鳥
 ↓
 16時すぎ さらに印旛沼まで移動 見逃していた普通種や、田んぼの鳥
 ↓
 17時 終了 帰途に就く

移動だけなら1都4県をまたにかけ、今までで一番の大移動をしたバードソンになりました。



今年で5回目の参加となります。メンバーそれぞれが忙しくなり、鳥見にも自由にいけなくなりがちな今日この頃です。日ごろ溜め込んだ鳥見への情熱、この機会に開放したいです。

ふよふよ☆ポニーテール				学	麻布大学 野鳥研究部		
総	23位	種	22位 (33種)	額	21位 (150円)	者	18位 (5人)

チームメンバー
 添田岳史 2年
 柴田響子 2年
 堂面志帆 2年

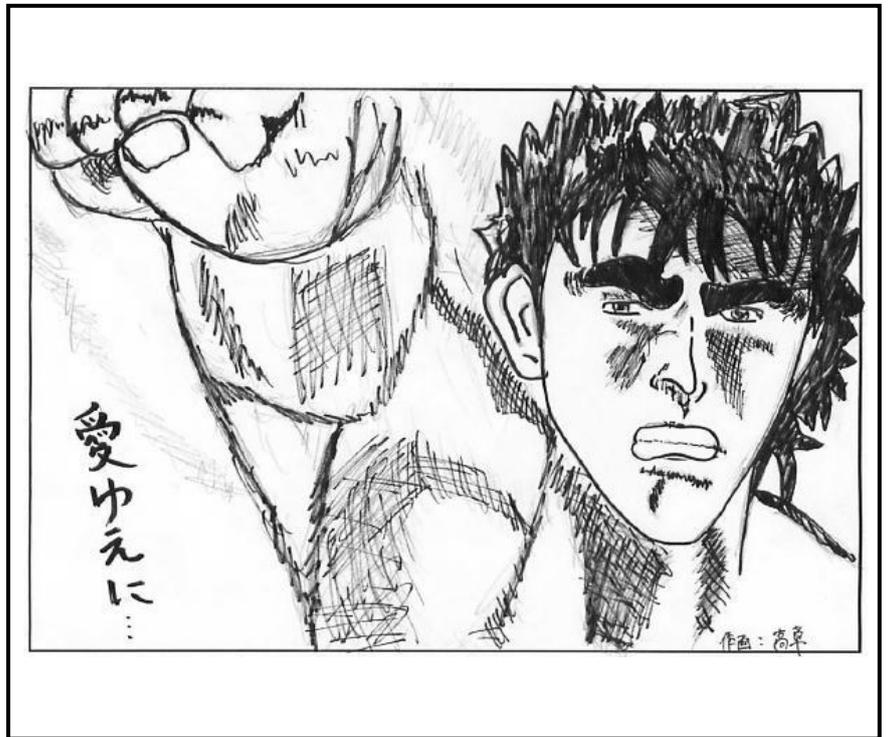
ドライバー・支援者
 小島翔吾 2年
 佐竹紗季 2年
 高草翔太 1年

神奈川から4時間半、日本を代表する高標高地の湿原、
 尾瀬の自然の中で楽しく鳥を見る事ができました。
 野鳥の知識はまだまだでしたがみんなで相談しながら
 鳥を探るのはとても楽しかったです。
 色々存意味で僕は2日を決めた理由は2つあります。
 今度参加することがあればぜひたくさん鳥を見たいです。
 頑張ります。

愛ゆえに……					学	麻布大学 野鳥研究部		
総	22位	種	17位 (45種)	額	22位 (100円)	者	20位 (4人)	

チームメンバー
 杉本卓翔 2年
 小山めぐみ 2年
 向谷伶実 2年

ドライバー・支援者
 坂本拓也 2年
 鈴木克哉 2年
 上村尊 1年



あなたとお弁当					学	麻布大学 野鳥研究部		
総	1位	種	2位 (90種)	額	2位 (59,056円)	者	1位 (537人)	

チームメンバー
 植木聡 2年
 岩沼有沙 2年
 多田青加 4年

ドライバー・支援者
 橋本一浩 OB
 牛根奈々 1年
 中山正晴 1年

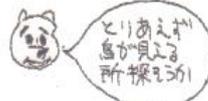


プーちゃんのハニーハント					学	麻布大学 野鳥研究部		
総	20位	種	8位 (62種)	額	23位 (0円)	者	23位 (0人)	

チームメンバー
 樋熊原野 3年
 高橋良乃 2年
 鈴木郁也 2年

ドライバー・支援者
 山本彩加 2年
 三横孝弘 1年
 松田里美 1年

6月13日 夜中1時に学校を出発。
 4時 迷いながらモ都院の森に到着
 しかし、
 営業が8時だった.....
 ここまでプーちゃんの一言!!



この後8時になるまで鳥見をしたとせ。
 コマドリとの奮闘があったがこれはまた別の話。
 よしまい。

岡本鳥見軍団					学	弘前大学農学部 生物学科		
総	7位	種	8位 (62種)	額	15位 (2,960円)	者	5位 (48人)	

チームメンバー
 中濱翔太 3年
 中田彰彦 2年
 柏木敦士 1年

ドライバー・支援者
 佐藤仁治 2年
 松永翔一郎 1年
 大宮慧子 1年
 川俣未央 1年
 菊池友実 4年

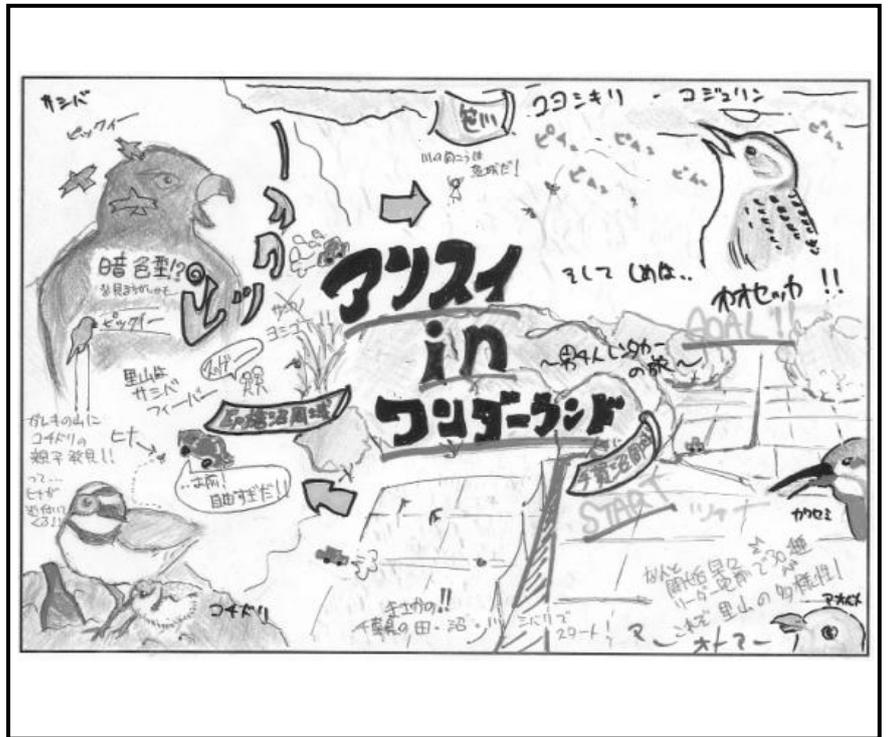
13日は本当に良く走った車か。
 一日かけで色々な所に行くと鳥見なのか
 ドライブなのか分からなくなってくる。
 途中、沼に落ちてスポンが染められたり
 道を間違えたりしたけれど、
 まあ、楽しければ良いのかな。
 今日おほのほの
 岡本鳥見軍団



当日拾った
ツクロウの次列風切

アリスイ in ワンダーランド				学	日本獣医生命科学大学 獣医保険看護学科		
総	12位	種	18位 (44種)	額	12位 (5,771円)	者	9位 (38人)

チームメンバー
 村越悠太 3年
 大矢篤 2年
 河内悠太郎 2年



kera ² feat.みつよし				学	岩手大学農学部 共生環境課程		
総	21位	種	25位 (一種)	額	9位 (7,489円)	者	22位 (1人)

チームメンバー
 工藤寛 4年
 坂井光子 2年
 南条充良 2年

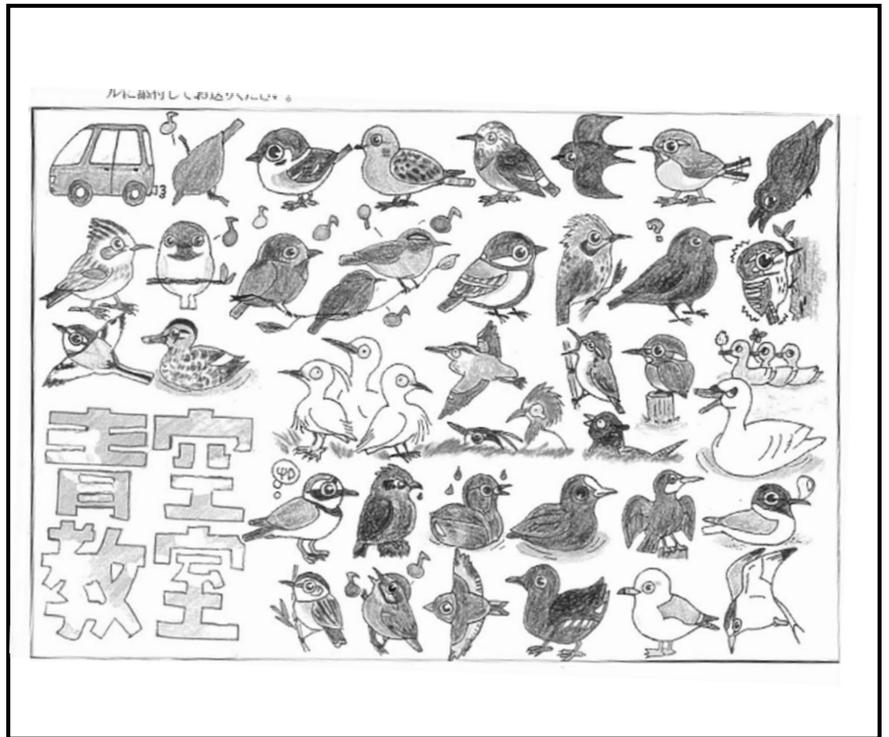
ドライバー・支援者
 佐藤遼太 4年



青空教室				学	帝京科学大学生命環境学部 アニマルサイエンス学科			
総	—	種	一位 (40種)	額	一位 (3,249円)	者	一位 (18人)	

チームメンバー
 谷智子 3年
 飯塚伊代 3年
 高畑奈苗 3年

ドライバー・支援者
 加古敦子 3年



SHOOTA-DOODLEDO				学	日本大学生物資源学部 獣医学科			
総	24位	種	24位 (32種)	額	19位 (600円)	者	21位 (2人)	

チームメンバー
 加藤わか葉 1年
 小松美絵 4年
 小林夏子 2年

ドライバー・支援者
 高橋恵 5年
 重松幸典 4年

5:15 神奈川県 照ヶ崎海岸にスタート
 ~7:15 相当の
 デオビト+
 海北を飲んでいいるの
 石塚さん

7:30 生沢 (池せ田を観察)
 ~8:30 イワツバメの巣を発見!!

8:45 花水川
 ~9:30 思ったより
 鳥がいなくてゾッワ...

- 昼休み -

12:30 ~ 宮ヶ瀬湖
 16:15 セマシを
 ねらうも、
 時間差で出会えず...

16:45 自然環境
 ~17:00 保護センターに終了
 ホトトギスの鳴き声キーン

天候には恵まれました。
 和参りで、この様な感じかつおことか出来たので、異不住でも、
 楽しめたので良しです!! 来年は、もっと計画を立て、今度は
 上位入賞目指して頑張ります。

teamTIKABA				学	酪農学園大学 環境システム学部 生命環境学科		
総	14位	種	11位 (51種)	額	16位 (2,106円)	者	13位 (19人)

チームメンバー
 村井拓成 3年
 柴田千穂子 1年
 田中祥菜 1年

ドライバー・支援者
 渡辺南 2年
 鍵谷進乃助 1年



アカショウビン探索隊				学	酪農学園大学 野生動物生態研究会		
総	16位	種	14位 (48種)	額	17位 (1,420円)	者	17位 (6人)

チームメンバー
 大平昌史 2年
 小上拓也 1年
 竹田翔 1年

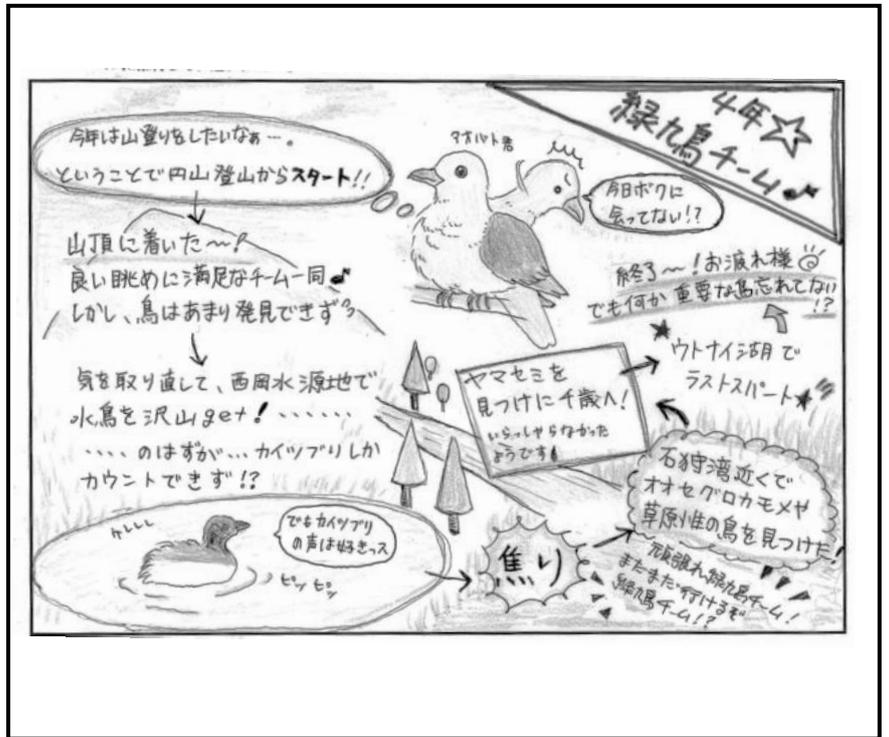
ドライバー・支援者
 石橋佳明 2年
 斎藤彦馬 2年



4年☆緑鳩チーム♪				学	酪農学園大学獣医学部 獣医学科		
総	15位	種	21位 (34種)	額	14位 (4,369円)	者	8位 (39人)

チームメンバー
 中村浩子 4年
 中野美貴 4年
 中西美香 4年

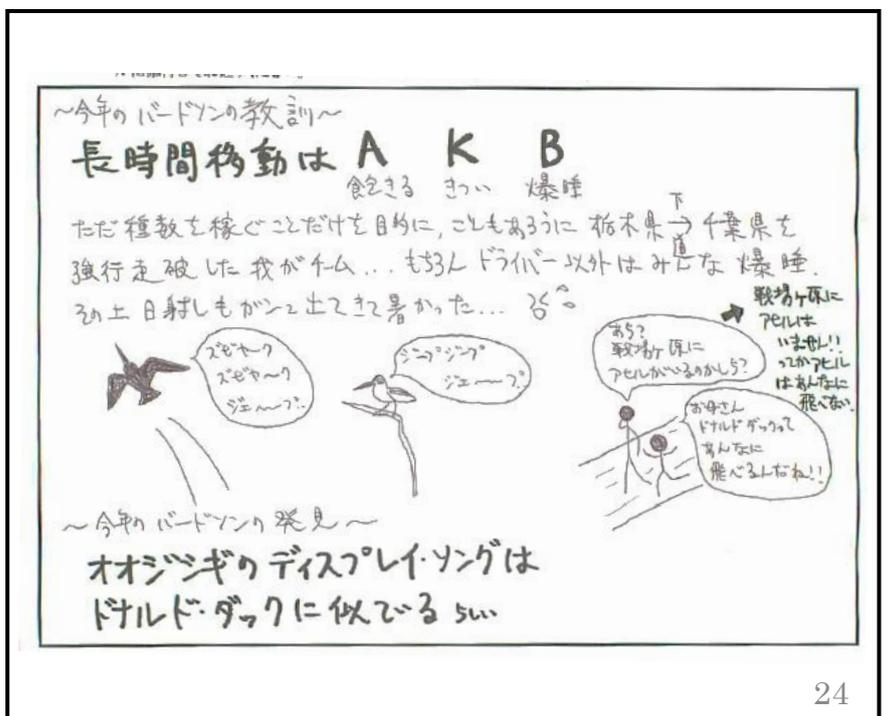
ドライバー・支援者
 西野将司 4年
 五味茂太 4年
 嶋岡奈奈 4年



ふじツルーと鳥見				学	宇都宮大学農学研究科		
総	19位	種	5位 (81種)	額	23位 (0円)	者	23位 (0人)

チームメンバー
 藤津亜弥子 M1年
 岩本千鶴 M1年
 荒井紀子 M1年

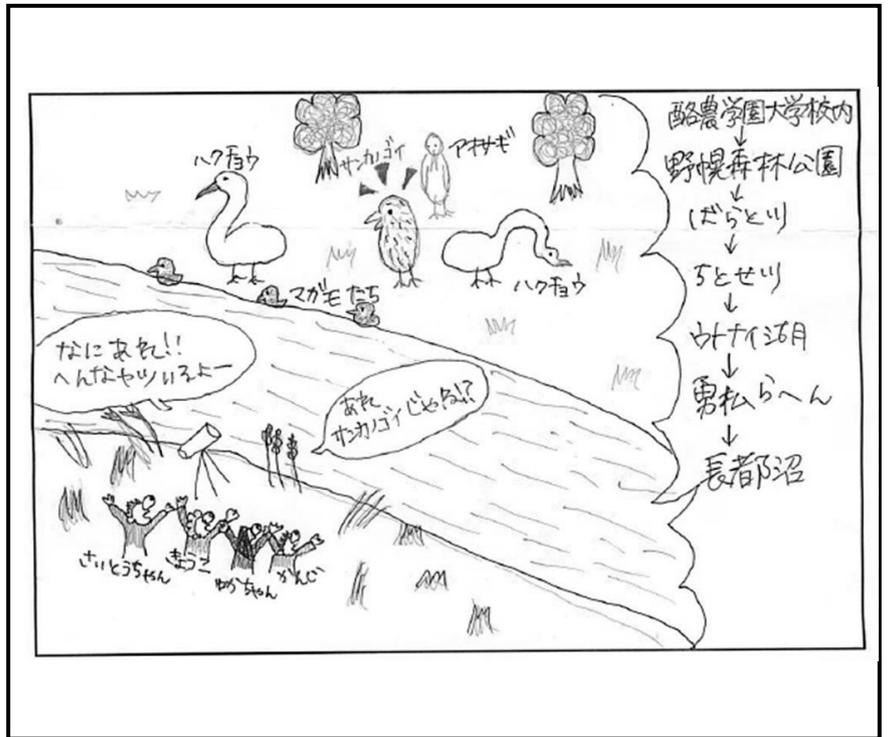
ドライバー・支援者
 橋本友里恵 M2年



さいとうちゃん				学	酪農学園大学獣医学部、WES		
総	16位	種	10位 (56種)	額	20位 (500円)	者	18位 (5人)

チームメンバー
 齋藤真一 2年
 三成有香 3年
 松橋杏子 3年

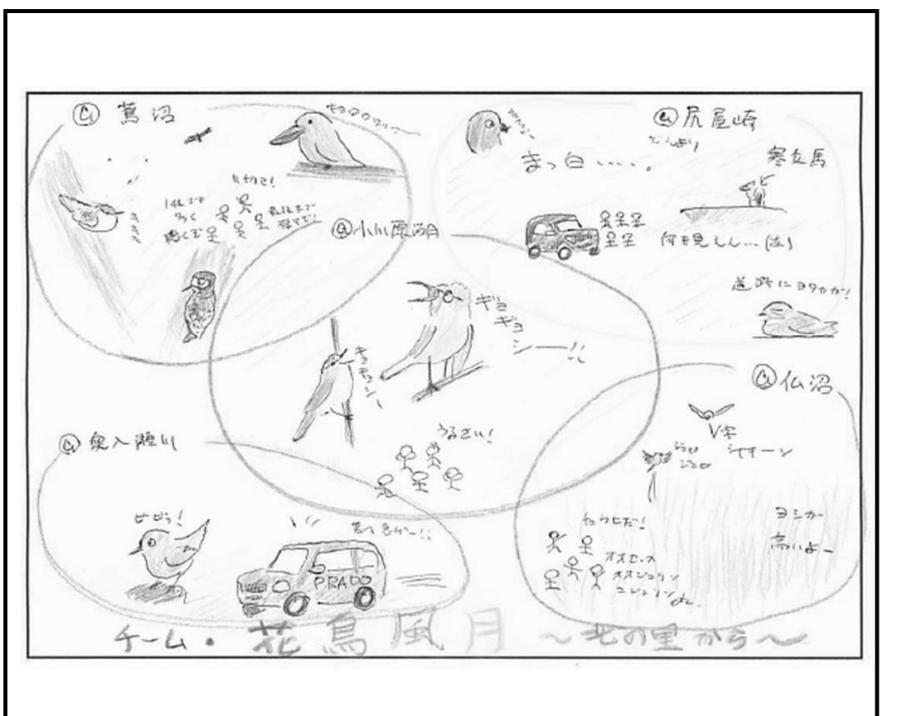
ドライバー・支援者
 橋本寛治 2年



花鳥風月～北の里から～				学	北里大学		
総	2位	種	1位 (119種)	額	3位 (39,845円)	者	3位 (113人)

チームメンバー
 青木桜 4年
 亀山弘貴 4年
 高橋雄成 3年

ドライバー・支援者
 長谷部加奈 5年



鳥ダイエットNOKO					学	東京農工大学農学部 野生動物研究会	
総	5位	種	13位 (50種)	額	5位 (16,301円)	者	2位 (130人)

チームメンバー
 平山瑛一 3年
 岩崎佳生理
 杉田あき 3年



勝つおどり					学	岐阜大学応用生物科学部 生産環境科学課程	
総	4位	種	4位 (82種)	額	7位 (9,833円)	者	6位 (44人)

チームメンバー
 松尾ほだか 2年
 辻愛子 4年
 石橋知可子 6年

ドライバー・支援者
 本井佑太 D2年
 小林愛美 3年

チーム「勝つおどり」は野生動物医学会学生部会岐阜支部Catena-Vitaから輩出されたチームで、チーム名からもわかるとおり戦闘モード全開の熱いチームです！普段行っている鳥見での経験+バードソンにかける熱い情熱で眠々打破を片手に頑張ります！！

鳥とりどり				学	岐阜大学応用生物科学部 生産環境科学課程		
総	6位	種	7位 (68種)	額	8位 (9,715円)	者	10位 (33人)

チームメンバー
 小林周平 2年
 石野はるか 2年
 野溝徹 2年

ドライバー・支援者
 山崎翔気 D3年
 若林麻里加 2年



鳥とりどり!! ~6/12・13~
アマガシ

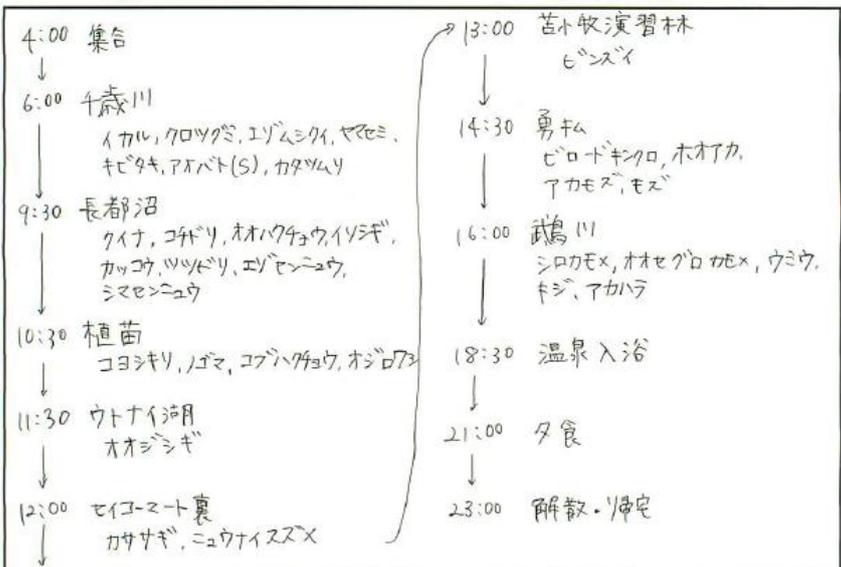
イノシシ, キセキレイ, アマガシ, オオトビ, イノトビ, アカハシ, アカモズ, モズ, カマド, ヨシノボリ, エビエ, シマヘン, ユウ, クイナ, コサビ, オオハクチョウ, イソシギ, カッコウ, ヨツボリ, エビエ, シマヘン, ユウ, コヨシギ, ノゾ, コフノクサウ, オジロアヒ, ウツナイ湖, オオシシギ, セイゴート裏, カササギ, ニュウタイズス

私たち「鳥とりどり」は学部二年生たちに、一人のおっさん学生が加わった、鳥見能力急上昇中のチームです。その名の通り、山・海・湖・葦原など色々な場所で様々な鳥をカウントしたいと企んでおります。メンバーどうしわきあいあいと「いろいろとりどり」の鳥を見ながら、「めざせ65種!!」を目標に、ちゃっかり景品狙います。

北大野鳥研究会				学	北大野鳥研究会		
総	12位	種	6位 (75種)	額	18位 (792円)	者	15位 (13人)

チームメンバー
 加藤未来 3年
 乃美大祐 3年
 吉井千晶 2年

ドライバー・支援者
 鈴木潤 3年
 奈良裕 3年
 島崎敦 1年



4:00 集合
 ↓
 6:00 千歳川
 イカル, クロツグ, イソシギ, セセキ, キセキレイ, アオバト(S), カタツムリ
 ↓
 9:30 長都沼
 クイナ, コサビ, オオハクチョウ, イソシギ, カッコウ, ヨツボリ, エビエ, シマヘン, ユウ
 ↓
 10:30 植苗
 コヨシギ, ノゾ, コフノクサウ, オジロアヒ
 ↓
 11:30 ウツナイ湖
 オオシシギ
 ↓
 12:00 セイゴート裏
 カササギ, ニュウタイズス

13:00 苫小牧演習林
 ヒンズイ
 ↓
 14:30 勇平
 ビロトキンクロ, ホオアカ, アカモズ, モズ
 ↓
 16:00 武島川
 シロカモエ, オオセグロカモエ, ユミウ, キジ, アカハラ
 ↓
 18:30 温泉入浴
 ↓
 21:00 夕食
 ↓
 23:00 解散・帰宅

カムリウミスズメのために頑張ります

チーム・ワグテイル				学	東京農業大学 動物研究部		
総	—	種	一位 (28種)	額	一位 (7,000円)	者	一位 (21人)

チームメンバー
 鈴木啓介 2年
 塩谷期均
 名倉智宏 1年

ドライバー・支援者
 鈴木聖哉 1年



ロワゾー・ブリュール				学	東京農業大学 野生動物学研究室		
総	11位	種	11位 (51種)	額	11位 (7,000円)	者	12位 (27人)

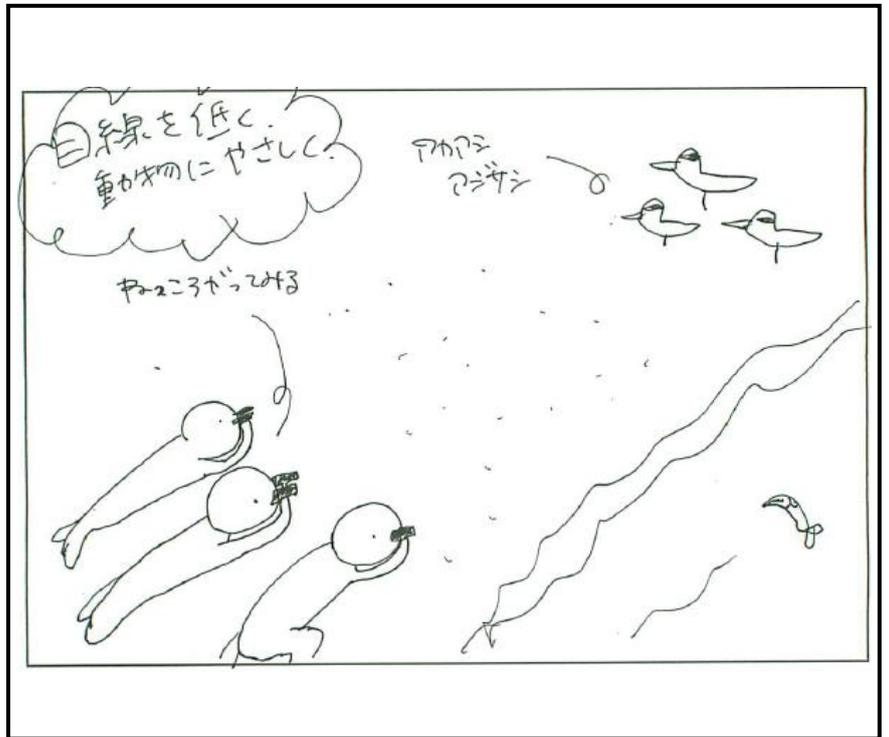
チームメンバー
 石川悠 M1年
 松田里奈 4年
 関幸馬 3年



ぱっぱらーず				学	東邦大学		
総	9位	種	16位 (46種)	額	4位 (21,317円)	者	13位 (19人)

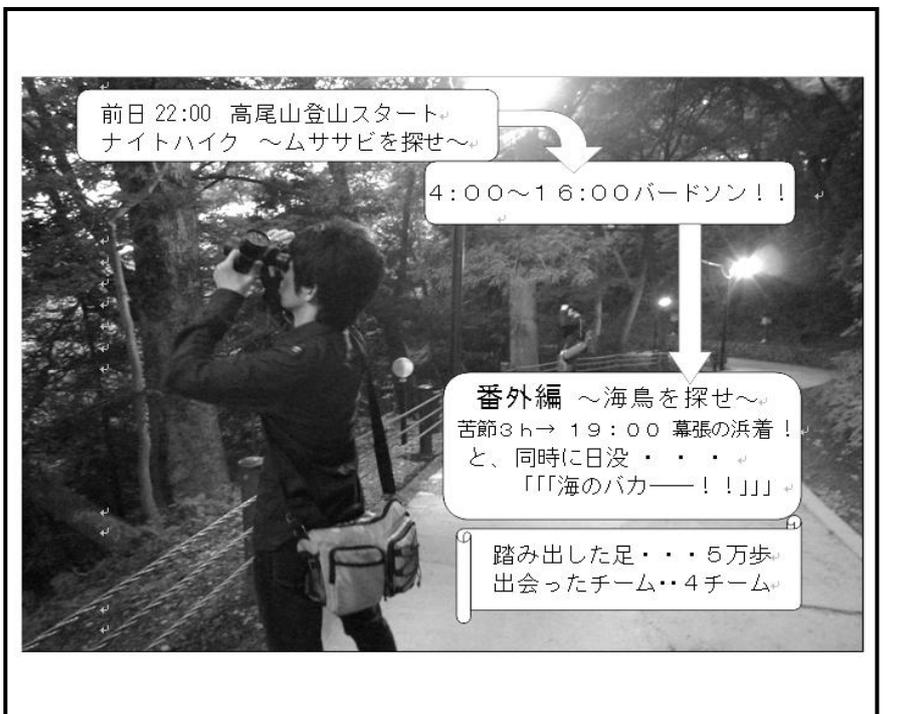
チームメンバー
 大原みさと 4年
 佐藤俊介 4年
 熊谷達也 2年

ドライバー・支援者
 渡辺一志 OB
 松井 OB



阪の上のもりと				学	東京農業大学		
総	16位	種	19位 (41種)	額	13位 (5,690円)	者	16位 (7人)

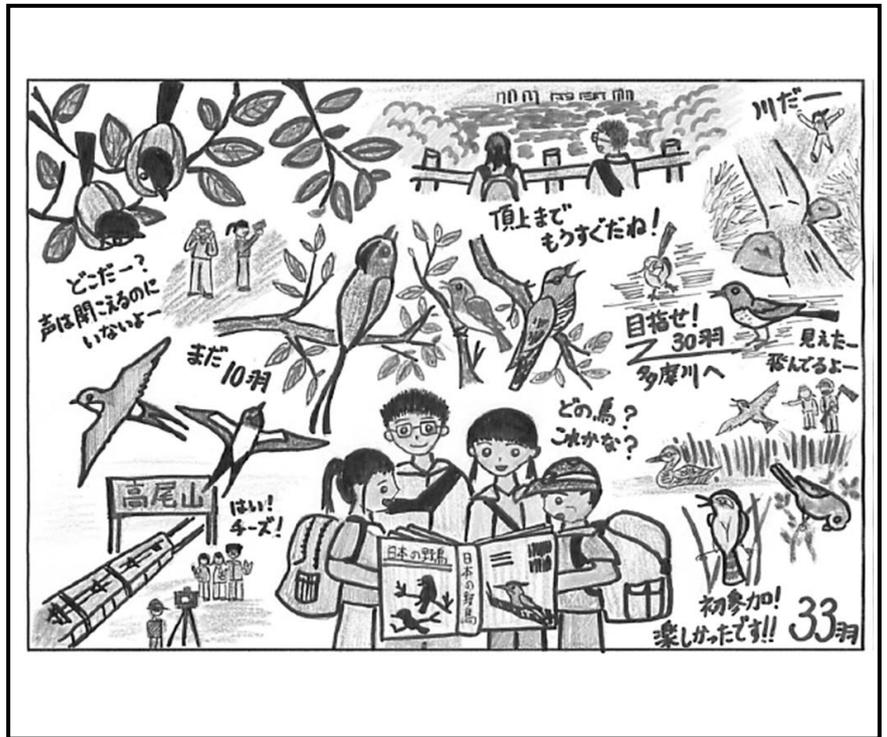
チームメンバー
 阪本森人 研究生
 押上友也 2年
 梅山直樹



とつても鳥見隊				学	FAネットワーク		
総	9位	種	22位 (33種)	額	1位 (73,900円)	者	10位 (33人)

チームメンバー
 源関絢 4年
 上野麻美子 4年
 島谷幸一 2年

ドライバー・支援者
 青木伸夫 社会人



アジアクラブ				社	(財)日本野鳥の会 翻訳ボランティア・アジアクラブ		
総	1位	種	2位 (68種)	額	1位 (335,319円)	者	1位 (272人)※

チームメンバー
 古川セツ
 馬場裕
 安藤啓子

ドライバー・支援者
 上野尚博
 渡辺純江
 安達春子

午前4時。曇り空のせい、例年にくらべて不気味なほど鳥が鳴かない。いつも聞こえるアオジやウグイス、センダイムシクイやトラツグミが黙っている。フクロウもそうだ。「去年のようにはいかない」とチームの誰もが思ったことだろう。だが、落倉の林道から調子が出てきた。至る所・ナキビタキが歌い、コリリやカラを凌駕している。オオルリやクワツグミさえ遠慮気味。安藤さん、渡辺さんだったか、アオバトの声を確認したとのこと。ボクは道を先に進んでいたためか聞きそびれた。代わりに、ゴジュウカラやアオゲラなどを皆より早く聞けてはいた。■朝のハイライトはアカショウビン。林・谷横の斜面林で幽玄に「ほろろろ…」と歌っていたが、突然、数メートル近くの小枝に飛来し、一瞬にして元に。逆光も赤い姿を見せてくれなかった。偵察に来たのだ。至福と興奮冷めやらぬその後3分、ヒシと耳を澄ませてもついでに気配はなし。が、翻って消える時、羽音でも声でもない何か(骨格?)が軋む音が耳に残った。■朝食に帰る途中、アマツバメやニューナイスズメに安堵する。モズ、キジバトさえ嬉しい。やや遠くの林縁にコサメビタキ?を見たが、皆での確認とはいかず、幻の記録となった。■ゴンドラを降り、標高1800メートルの梅池自然・に着くとメボソムシクイとルリビタキに迎えられる。クロジも健在。背景に雪山が広がりコマドリがイナナギ、今年もウソが口笛を吹く。遠いが、数羽は確実。のどかなツツドリやカッコウは言うまでもない。■11時過ぎ、梅の森ではエナガの群に寛ぐ。昨年の不覚を晴らせた。はっきりとさえずりを聞いたが、キウイタダキを安藤・安達姉妹も確認。収穫は、上野さんがウズって叫んだ天空のハチクマ。首が大きい。翼をすぼめ、北風に逆らって屹然と飛去した。数千キロの渡りをして来た彼にエネルギーを貰って我々の疲れは吹き飛び、会話も弾んだ。■予定・オていた蕎麦をコンビニ食にハシヨリ、車中で昼食。毎年、確実に3~4種の鳥を稼げる姫川ダムへ。固唾を飲んで堰堤から湖面をスキャンするもカワガラスはおろかカツブリやイソシギさえ出ず、ただ涼やかにセキレイとツバメが飛ぶ。真夏の日射と焦りが限界に来た頃、マガモと待望のオンドリ、そして只一羽のカワアイサに心落ち着く。雌雄とも完璧な夏羽。感謝。ここはハズせない。■安藤・安達さんと五竜バス停で別れ、居谷里湿原へ急ぐ。センダイムシクイが未確認だ。運転席から降り際、微かに「チヨビー」を聞くと、先行く3名に伝えられぬまま遊歩道を追う。先客の小柳支部長に極東有数のノジコ繁殖地と伺いガッテン、ライバル安西チームの動静も聞いた。短時間ながら朗々と鳴くノジコとエゾハルゼミの天下、渡辺さんがセンダイムシクイについて確認し、破顔一笑。■下見で未練のサギ達に再会せん・ニ、犀川に地就くトビやカワウを車窓より目視しつつ、最終地と勇んだ豊科の水田地帯。家並み迫る苗田には昨日の10羽ものアマサギは全て掻き消え、チュウサギ、コサギのみ舞う。圧巻はワサビ園裏の竹林。定刻5分前アオサギ、ゴイサギのコロニーを堪能し我々のバードソンは終了。集計した鳥は68種であった。

キャプテン:馬場 裕(記)

鳥っこ				社			
総	5位	種	1位 (70種)	額	3位 (30,000円)	者	11位 (1人)

チームメンバー
 鈴木耕平
 伊藤のぞみ
 齋藤肇

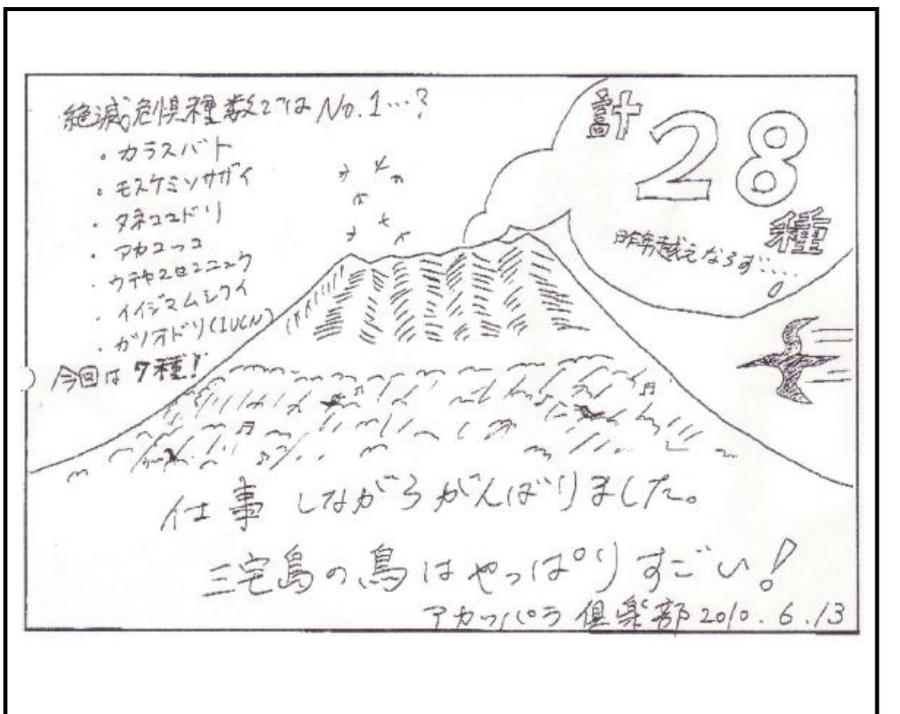
ドライバー・支援者
 鈴木淳子
 齋藤豊子
 若見朝子
 若見正幸



アカツパラ倶楽部				社	(財)日本野鳥の会 三宅島事業所		
総	9位	種	10位 (28種)	額	9位 (9,014円)	者	8位 (7人)

チームメンバー
 江崎逸郎
 篠木秀紀
 内藤明紀

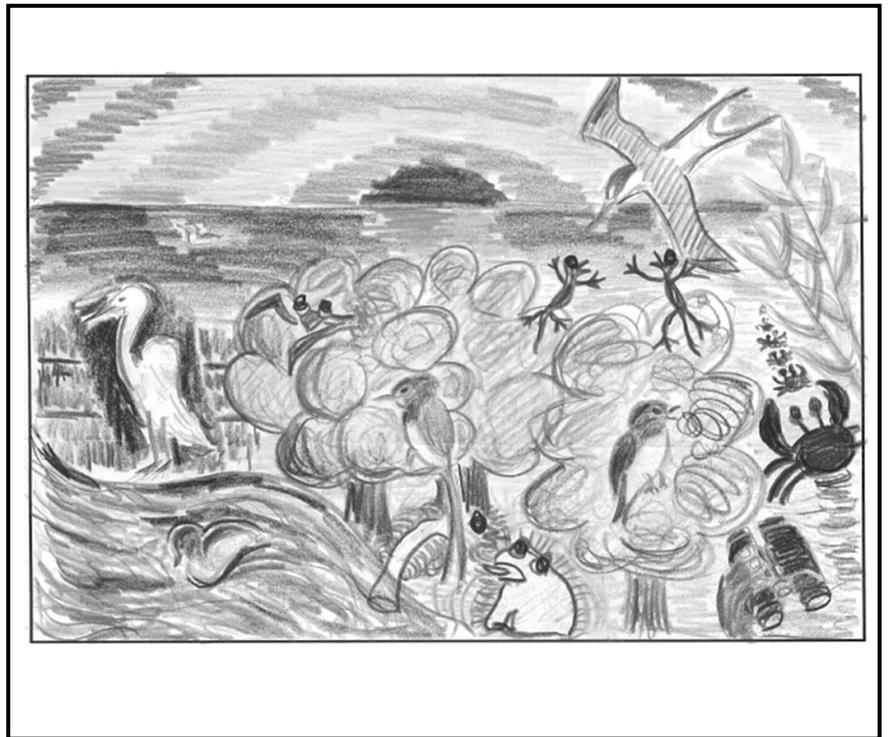
ドライバー・支援者
 穴原美奈



くさやな関係(チーム植田)				社	FAOG		
総	8位	種	6位 (41種)	額	13位 (3,550円)	者	7位 (8人)

チームメンバー
池上佑里
広瀬稔
植田健介

ドライバー・支援者
本川原基



くさやな関係(チーム山田)				社	NEC		
総	7位	種	5位 (42種)	額	7位 (11,129円)	者	10位 (3人)

チームメンバー
山田勲
池田未央
掛下向一郎

ドライバー・支援者
本川原基



チーム鳥目				社	キナシベツ湿原を愛する会		
総	12位	種	11位 (26種)	額	10位 (6,000円)	者	11位 (1人)

<p><u>チームメンバー</u> 榊原源士 森田健吾 リチャード・ウェディ</p> <p><u>ドライバー・支援者</u> 谷誠一 釜谷藍子 ジョコ・バット ジャクリース・パクトル バーナード・プライス ジャネット・シェフィールド マヤウオロタース ジェシカ・ウェブ 源関さん</p>	
---	--

ベイシティターン				社	NPO法人 東京港グリーンボランティア		
総	12位	種	13位 (21種)	額	8位 (10,329円)	者	11位 (1人)

<p><u>チームメンバー</u> 田中良平 八木雄二 古屋祐司</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px;"> <p>ア＝日曜に行幸(定例)があり、それと平行して行ったので 拝見教は見込めなかった。 車を休めたいところではありましたが。</p> </div>
---	---

アヤヤインワンダーバード ～なんちやってAYAWAY～				社	FAOG		
総	9位	種	7位 (36種)	額	11位 (5,710円)	者	9位 (4人)

<u>チームメンバー</u> 藤原千夏 長谷川里美 高橋睦 <u>ドライバー・支援者</u> 松浦孝憲							
--	--	--	--	--	--	--	--

なんちやってあややシーズンIV ～アヤヤハイパー～				社	FAOG		
総	6位	種	7位 (36種)	額	6位 (12,800円)	者	3位 (15人)

<u>チームメンバー</u> 石橋弘美 恵良卓哉 下平卓也 <u>ドライバー・支援者</u> 吉川亜希							
--	--	--	--	--	--	--	--

釧路たんちょうクラブ				社	(財)日本野鳥の会		
総	2位	種	3位 (66種)	額	4位 (22,040円)	者	3位 (15人)

チームメンバー

伊藤加奈
有田茂生
手嶋洋子

ドライバー・支援者

高橋友美

朝6:00に根室市内の明治公園。前日の作戦会議と早起きで寝不足でしたが、晴天の青空の中、はりきってスタートしました。まずは、根室半島をぐるっと一周です。明治公園では、カワラヒワやアオジ、ウグイス、コヨシキリ、シマセンニュウ、エゾセンニュウ、センダイムシクイ、ベニマシコ、ノゴマ、カッコウ、オオジシギ、オオセグロカモメ、キンクロハジロなど計23種を確認。オオホシハジロと予想外の種も確認することができました。一方、カラ類が見れなかったため、別の場所に期待することに。半島の最東端である納沙布岬に向かう途中、オホーツク側の港や牧草地でスズガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、アマツバメ、ショウドウツバメ、ノビタキ、オオジュリン、ニュウナイスズメなどが見られました。納沙布岬では、クロガモ、ピロードキンクロ、シロエリオオハム、ウミスズメ、チシマウガラス、ウトウ、ヒメウ、ウミウ、オジロワシと海鳥を主に確認。チシマウガラスは、顔の赤色と青色が鮮やかでした。

戻りは太平洋側を通過して、カモ類を目的に港を見て回ったのですが、連日天気良かったせいで海が静か。鳥の気配も静か…。見られると思っていたカモ類がみれず、嫌々予感。明治乳業野鳥保護区牧の内へ移動し、タンチョウを確認。根室市春国岱原生野鳥公園の学習林では、明治公園で逃したカラ類を確認。そのほかミンソザイやウソも見られました。さらにここでカモやミヤコドリなどを確認しようと思っていたのですが、まさかの見事な引き潮で、水辺は潮干狩りのお客さんでいっぱい。アオサギ1羽のみの確認となりました。いつも見られるシロカモメは見つけないと春国岱の砂州へむかうと、木道からはずれて湿原を歩いてく観光客を発見。暑い日差しの中追いかけて、ようやく木道に戻してもらいました。時間と体力をすっかり費やし、やれやれと引き返すと、上空をマガモが飛翔。ご褒美でしょうか？ここまで、午前中に54種確認しました。午後は、大分時間が押していたのと霧がでてきたので、予定していた他のポイントは諦め、厚岸の糸魚沢林道と早瀬野鳥保護区別寒辺牛湿原へ向かいました。途中、海岸や湖沼を何ヶ所か通りましたが、カモ類はほとんど見られず。半分諦めかけていましたが、それでも諦めずに冷静に観察し続けたメンバーのおかげで、ウミアイサ、カワアイサ、オナガガモ、オカヨシガモの4種が確認できました。期待の糸魚沢林道でもあまり種数があがらず、ツツドリ、ルリビタキ、ハシブトガラ、ビンズイなどを確認。狙いのエゾライチョウは確認できませんでした。残り1時間半となり、急いで釧路へ。釧路湿原の湖沼でカモ類の最後の望みをかけるも、残念ながら確認できず。鶴居村へ入り、まだ未確認のアカゲラやミヤマカケス、アリスイなどが見られることを願って温根内木道を歩きましたが確認できず、66種目にコルリのさえずりが聞こえて、17:40分に終了を迎えました。過去出場したことのある知人から「普段は見られる種が案外見られなかったりするんだよ」と聞いていましたが、まさにその通りでした。さらにスタートする前に見かけたアリスイが競技時間内に確認できなかったなど、くやしい思いをしました。

今回バードソンに出場したことで、自分のフィールドで1日に何種類の鳥が確認できるか調べることができ、良い機会となりました。また、メンバーと一緒にあれこれ考えながら走り回ったり、思い出がたくさん残りました。自分自身も楽しみながら、自然保護活動に募金ができる仕組みはよく出来ていると思います。早速、次回のルート案を考えていますので、またぜひ参加したいと思っています。

元ぱっぱらーず				学	東邦大学理学部 OB・OG		
総	11位	種	12位 (25種)	額	12位 (4,500円)	者	6位 (9人)

チームメンバー

西山康介
大野桂史
堀川麻美

ドライバー・支援者

豊島秀明



自然を愛し、野鳥を愛し、さらにお酒も大好きな元ぱっぱらーず。2年ぶりに参戦です。大学時代からの仲間がこの大会で再び集結！今回の僕達の目標は「とにかく楽しむ事」です。よろしくお願ひします

チーム♪鳥くん				社			
総	4位	種	4位 (48種)	額	5位 (20,110円)	者	5位 (11人)

チームメンバー
 永井真人
 深澤真梨奈
 山川航平

銚子港～印旛沼
 観察種数 48 + 2

Taem mates: Masato Nagai, Marina Fukasawa, Masatoshi Katsura

前から夢見ていた初のバードソン参加!! やったね。

再び、カムリウミスズメ助け隊				社	(財)日本野鳥の会		
総	3位	種	7位 (36種)	額	2位 (53,188円)	者	2位 (83人)

チームメンバー
 林山雅子
 葉山政治
 安西英明

ドライバー・支援者
 大野敦子
 岡本裕子
 渡邊佳代

白馬の東京へカムリウミスズメもする、3人旅 2010

白馬 開始 (5:30)

ハフバ 白馬 まゆり

親海湿原 オオミ

報告書

車窓の コサキ (15:47) 於 並崎

エキアツツバ入 ハマナカ 16:00

日本野鳥の会、選抜(?)メンバーが長野県の白馬で参加いたします!!野鳥の会の名にかけて、見つけまくるぞー!!目指せ50種!!!エイエイオーー!!!

4. 関連イベント報告

競技のほかに、実行委員会と有志の大学生とともに5つのイベントに出展し、カンムリウミスズメ保護プロジェクトと学生バードソンについての普及を行いました。

「春のバードウォッチングフェスティバル」

【開催日】 5月3日(土)、4日(日)

【開催地】 葛西臨海公園 鳥類園

【成果】 募金16,834円

「東京バードフェスティバル2010」

【開催日】 5月29日(土)、30日(日)

【開催地】 東京都大田区 東京港野鳥公園

【成果】 募金62,985円



「秋のバードウォッチングフェスティバル」

【開催日】 10月10日(日)、11日(月)

【開催地】 葛西臨海公園 鳥類園

【成果】 募金34,714円

「ジャパンバードフェスティバル2010」

【開催日】 10月23日(土)、24日(日)

【開催地】 千葉県我孫子市 手賀沼親水公園・鳥博広場 ほか

【成果】 募金96,366円

「エコプロダクツ2010」

【開催日】 12月9日(木)、10日(金)、11日(土)

【開催地】 東京都江東区 東京ビッグサイト

【成果】 普及人数176人



イベント当日は、手作りのホンホシマスコットという毛糸のぬいぐるみや、カンムリウミスズメのグッズを頒布しました。また、紙芝居や〇×クイズを上演し、子供たちやその親、地元の方など多くの方に、楽しみながらカンムリウミスズメのことを知ってもらうことができました。5つのイベントで総計210,899円の募金を集めることができました。当日の手伝いに来てくださった多くの大学の方々、募金にご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。

○三宅島調査同行○

【日程】 2010年4月5日(月)～8日(木)、20日(火)～22日(木)、5月11日(火)～13日(木)

【場所】 東京都 三宅島

2009年度に続き、(財)日本野鳥の会が行う三宅島のカンムリウミスズメ調査に同行しました。

調査は漁船に4, 5人で乗り込み、双眼鏡でカンムリウミスズメを探しました。そして見つけた数と位置、成鳥・幼鳥の識別を記録していきました。

今回の視察で、三宅島の歴史や自然を学び体感し、本物のカンムリウミスズメを見られたことや調査の現場に立ち会うことができました。これらの体験により、東京バードフェスティバルやジャパンバードフェスティバルなどでカンムリウミスズメについて伝える際に具体的に説明、現場の様子をより臨場感あふれる言葉で、詳しく伝える際に生かすことができました。来場者の方々にも臨場感あふれる説明をでき、共感を得られやすかったです。

また、日本野鳥の会の三宅村村長への表敬訪問に同行し、感謝の言葉をいただきました。



漁船での調査風景



三宅村村長への表敬訪問(手前左が村長)

○NEC学生バードソン2010交流会○

【開催日】9月26日(日)

【開催場所】日本野鳥の会 五反田事務所

参加チーム

学生チーム:7チーム

- 阪の上のもりと(東京農業大学)
- 青空教室 (帝京科学大学)
- 愛ゆえに…… (麻布大学)
- あなたとお弁当 (麻布大学)
- めんそーれ沖縄! 農工の女子力☆
(東京農工大学)
- とっも鳥見隊 (FAネットワーク)
- ぱっぱらーず (東邦大学)

社会人チーム:3チーム

- 翻訳ボランティア・アジアクラブ
- くさやな関係(チーム植田)
- 再び、カンムリウミスズメ助け隊



<当日の様子>

NEC学生バードソン2010の競技参加者の皆様と、募金先である日本野鳥の会の飯塚利一事務局長、江崎逸郎様、瀬古智貫様にもご参加いただきました。

各賞の表彰式、学生バードソンの活動紹介、江崎様によるカンムリウミスズメを守る事業についての講演、野鳥あてクイズなどさまざまな企画をとおして互いの健闘を称えあい、親交を深めました。

5. 実行委員会紹介

● メンバー紹介

実行委員長

深澤 真梨奈(東邦大学4年)

会計

岩本 愛夢(東京農工大学3年)

渉外・・・チームの皆様とメールや書類のやりとりをさせていただきました。

阿部 辰己(東京農業大学4年)

山下 宏幸(帝京科学大学4年)

岩本 愛夢(東京農工大学3年)

広報・・・メディアを通じて学生バードソンを一般の皆様にお伝えしてきました。

亀崎 愛(東京農業大学2年)

白井 孝賢(東邦大学3年)

企画・・・関連イベントの企画をさせていただきました。

見附 あかね(日本獣医生命科学大学3年)

サポート

源関 絢(法政大学4年)

大原 みさと(東邦大学4年)

岡田 英昭(日本大学修士2年)

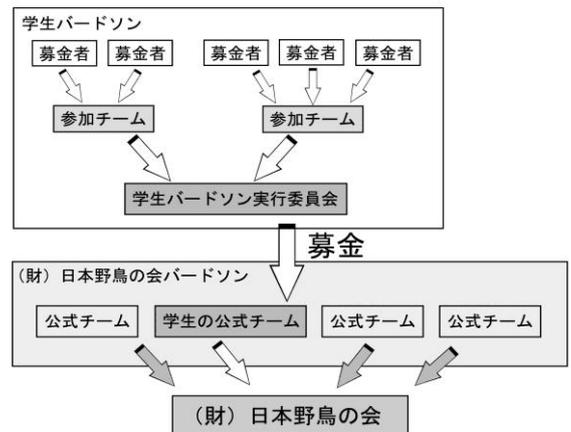
学生バードソン実行委員会は、自然保護学生ネットワーク「Field Assistant Network」の事務局スタッフを中心に、主に首都圏の大学生によって結成されています。本年度もチームの皆様と一緒に学生バードソンを実現するため尽力させていただきました。また関連イベント当日にはスタッフ以外の様々な大学の方々にもお手伝いをさせていただきました。

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

6. 学生バードソンのあゆみ

< (財) 日本野鳥の会バードソン期 >

- 1988年 関東周辺の自然系サークルの大学生メンバーが中心となって第1回学生対抗バードソンを開催。160万円以上の募金を集め、日本野鳥の会へ寄付。募金者数1500人。
- 1989年 日本野鳥の会バードソンに女子大生チーム「AGFゆとりすとFUNギャルズ」が公式チームとして参加し、募金額67万円、募金者数1,000人を集め、募金者数第1位に。
- 1990年 日本野鳥の会バードソンにオープンチームとして1チーム学生チームが参加。
- 1991年 「日本野鳥の会のバードソンにオープンチームとして参加するだけではなく、『学生として』もっと何かできないだろうか。」こうしてできたものが、バードソンにおける学生部門としての『学生バードソン』でした。この『学生バードソン』は、学生バードソンの代表として1チームが(財)日本野鳥の会のバードソンに公式エントリーし、その他多数の学生チームがオープンチームとして参加するものでした。(右図参照) この形式は、1998年に(財)日本野鳥の会バードソンが行われなくなるまで続きました。



- 1994年 NECからの協賛を得て大規模に展開。

■1995年

「NEC学生バードソン95」を開催し、参加チーム数67チーム、参加人数280人、募金者数1,815人、募金総額1,005,175円を達成！

また、日本野鳥の会のバードソン95に学生バードソンの代表チームとして公式参加の「NEC Y G OSPREY」が種数部門で105種で堂々の1位に。

< 独自の学生バードソン展開 >

■1998年

(財)日本野鳥の会主催のバードソンが終了。

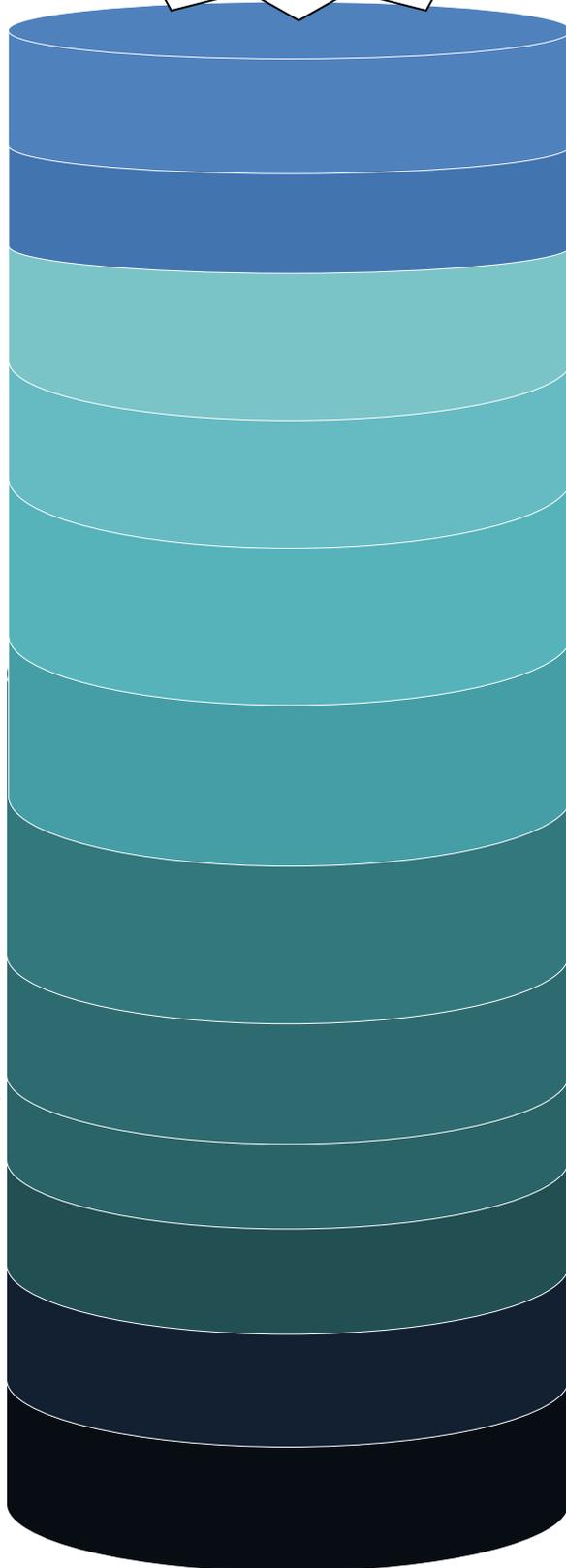
しかし、学生による自然保護ネットワークであるField Assistant Networkの学生スタッフが中心となり、学生自ら募金先を選定し、運営する独自の学生バードソンが1999年より始まり現在に至ります。

これまで、協賛いただいているNEC社会貢献室をはじめ、非常に多くの方々のご厚意と熱意に支えられ、重要な活動を進めている5つの自然保護NGOに対し、合計1,700万円を超える募金を寄付してきました。

学生バードソン 22年間の成果

**総額
約1900万円!!**

募
金
総
額



第22回(2010年) 1,085,296円
第21回(2009年) 1,033,412円
(財)日本野鳥の会
『カンムリウミスズメ保護プロジェクト』

第20回(2008年) 1,066,542円
ラムサールセンター『KODOMOラムサール』

第19回(2007年) 920,734円
第18回(2006年) 1,004,333円
第17回(2005年) 1,041,602円
NPO法人トラストサルン釧路
『湿原とその集水域買収』

第16回(2004年) 1,114,457円
第15回(2003年) 770,024円
NPO法人リトルターンプロジェクト
『コアジサシ営巣地整備』

第14回(2002年) 894,991円
第13回(2001年) 1,248,308円
第12回(2000年) 1,081,597円
NPO法人霧多布湿原トラスト
『霧多布湿原の保護地買収』

第11回(1999年) 1,149,605円
ウトナイ湖サンクチュアリ
『ウトナイ湖サンクチュアリ基金』

第10回(1998年) 513,567円
第9回(1997年) 811,007円
(財)日本野鳥の会 『里山基金』

第8回(1995年) 1,005,175円
第7回(1994年) 1,235,737円
(財)日本野鳥の会 『野鳥保護基金』

第6回(1993年) 228,091円
出水のツル越冬地買い上げ

第5回(1992年) 302,470円
仏沼湿原買い上げ

第4回(1991年) 371,506円
第3回(1990年) 16,300円
第2回(1989年) 669,307円
(財)日本野鳥の会 『野鳥を科学する基金』

第1回(1988年) 1,600,827円
鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ

※1996年は日程調整の都合により、開催されませんでした。

7.謝辞

NEC学生バードソン2010 競技参加者の皆様
NEC学生バードソン2010 募金者の皆様

NEC CSR推進部 社会貢献室
山辺清和 様

(財)日本野鳥の会
柳生博 様
鈴木君子 様
小林豊 様
安藤康弘 様
柵さち子 様
篠木秀紀 様
江崎逸郎 様
内藤明紀 様
瀬古智貫 様
大西翔士 様
スタッフの皆様

小川珈琲株式会社
新田哲志 様

株式会社文一総合出版バーダー編集部
志水謙祐 様
中村友洋 様

♪鳥くん

葛西臨海公園 鳥類園
中村忠昌 様
大原庄史 様
恩田幸昌 様
スタッフの皆様

『NEC学生バードソン2010』を実施し、本報告書を発行するにあたり、
上記の皆様より、並々ならぬご賛助・ご協賛を頂きました。
ここに、心より感謝の意を表します。

NEC学生バードソン2010 報告書

企画・編集 : 深澤真梨奈 (学生バードソン2010実行委員会 実行委員長)
阿部辰己 (同 実行委員)
大原みさと (同 実行委員)
源関 絢 (同 実行委員)
見附あかね (同 実行委員)

表紙イラスト : 深澤真梨奈

発 行 : 学生バードソン2010実行委員会
〒275-0014 千葉県習志野市鷺沼2-7-2
ロイヤルアベニールB102小日向方
E-mail: fan@fa-net.org
TEL:090-7633-2002 FAX:047-452-2407
<http://www.fa-net.org/birdathon/2010/index.html>

発 行 日 : 2011年3月